

ちょっと防災

Q 登下校時の地震が心配です。通学路の危険を見抜くポイントは？

A 落ちてくるもの、倒れてくるものがないかを確認しましょう！

普段は危険ではないものが、地震によって凶器に変わります。通学路はもちろん、よく通る道も確認しておきましょう！

外出時の

要注意危険物たち

- | | |
|------------|--------|
| 落ちてくる物 | 倒れてくる物 |
| ・ビル等の窓ガラス | ・自動販売機 |
| ・家の瓦 | ・電柱 |
| ・建物の外壁 | ・門 |
| ・お店や商店街の看板 | ・ブロック塀 |

地震後は倒れてくる物の近くには寄らないこと。また、どこにいても落ちてくるものには注意して！まずはカバンなどで頭を守りましょう。

ずぼらさん向け！虫対策

今月は取り込む前の確認

屋外に干した洗濯物には虫が付着していることがあります。そのまま取り込むと衣類の虫食いが発生するかもしれません！



対策するのは...

▶▶ ヒメマルカツオブシムシ

衣類の虫食いを発生させる衣類害虫の一種。実は、衣類などの繊維を食べるのは幼虫だけ！

対策

虫がないかをよく確認してから取り込みましょう。淡い色によく集まるため、白っぽい物を干した時は特に注意してください！



プレゼントキャンペーン



Sakulife 衣類用防虫剤 18個入り

100%自然由来の成分を配合した、無添加な防虫剤。衣類にも、人にも、環境にもやさしい防虫剤で、大切な洋服をケアしてください！

応募方法

以下のURL、または右のQRコードからアクセスしてご応募ください！

<https://forms.office.com/r/ULeVvWBY6g>



応募締切

2023年3月12日(日)

*当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募用キーワード **ぼうさい**

今月の表紙 Cover Talk

毎日通っている行きつけの公園で同い歳のお友達と遊んだ時の笑顔の写真です。

バックナンバー 大好評公開中

さくらいふちゃんのHPからご覧いただけます。



こちらからご覧ください



次号の特集は……「ダニ」お楽しみに！

IKARI イカリ消毒株式会社
©2023 IKARI SHODOKU CO., Ltd. JAPAN

enjoyobou 3 2023

親子で楽しく予防しよう！

3 2023 MAR
エンジョイヨボウ

TAKE FREE ¥0
毎月発行

enjoyobou

Follow Us



特集

体験で防災力を身に付けよう！

2023年3月号
発行・イカリ消毒株式会社 さくらいふ推進室
〒542-10076 大阪府大阪市中央区難波5-1-160
電話 06-6636-2741

さくらいふちゃん で検索！

配布&設置場所募集中！
お気軽にご連絡ください！

家庭でできる
予防習慣

体験で防災力を 身に付けよう！

もしも被災したら、どんな生活が待ち受けているのかを考えたことはありますか？特に、子どもたちにとっては未知で過酷な生活が待っています。いざという時の適応能力を養うために、日ごろから体験を重ねて防災力を高めましょう！



4 『簡易トイレ』 実際に使ってみよう！

簡易トイレは、予め体験しておくことをおすすめします。家族全員が排泄することを考えて必要な個数を備えられるようにしたいですね。1人当たり1日7回排泄すると、4人家族なら1日28個の簡易トイレが必要です。発生する汚物の管理方法も併せて考えておく必要があります。



楽しく取り組んで、
災害に強くなりましょう！

1 『防災ごっこ』 家族でやってみよう！

Fun!



自宅で被災したときのシミュレーションとして、家族で「防災ごっこ」をしてみよう！ランプの明かりや防災用品だけで一晩を過ごしてみるのです。電気、水道、ガスが使えない生活を体験することで、実際に被災した際に子どもがストレスを感じにくくなります。また、我が家で備えておかなければならない防災グッズが見えてくるのもメリットです。非常食の賞味期限が切れるタイミングなどで、楽しみながら挑戦してみてください！

5 『非常食』 実際に食べてみよう！

調理方法や食べ方を確認しながら、味もしっかり体験しておきましょう。災害時だからこそ、おいしく食べられるものを備えたいですね。また、調理に必要な道具も一緒にそろえておきましょう。賞味期限が切れてしまわないように、定期的に確認してください。



6 『防災メモ』 相談して作ってみよう！

住所や家族の名前、電話番号、緊急連絡先などに加え、家族との連絡方法、非常時の集合場所などをまとめておきましょう。災害時に子どもと一緒にいられるとは限りません。その時に備えて、家族で話し合いをしておきましょう。

2 『防災施設』 災害の疑似体験ができます！



家族で防災体験ができる施設へ足を運び、災害を体験しましょう。地震体験、煙体験、消火体験などに加え、津波のシミュレーションやがれきの街を再現している施設もあります。子どもたちが参加できるワークショップなども開催されているので、家族みんなで防災を学びに行くことで、防災力が高まります！



7 『衛生面』 水が使えないときのことを考えてみよう！

断水が起こると、限られた量の水しか使えなくなります。そうなると、手を洗うこともままなりません。もちろん食事に使用する食器も洗えません。お風呂にだって入れなくなるのです。「防災ごっこ」や「防災キャンプ」を通じて、実際に水を使わない生活を体験することで、衛生的に過ごすために備えておかなければならない防災グッズが見えてきます。子どもたちと一緒に考えてみてください！

3 『防災キャンプ』 寝心地の悪さを体験！



キャンプには防災術が満載！また、もしもの時にはキャンプグッズが役立ちます！おうちで過ごすのとは違う不自由さを楽しむことで、避難所生活も乗り切ることができます。快適に過ごす工夫は、子どもたちに考えてもらうのも大切です。どんな環境でも生き抜く力を鍛えましょう！

8 『感染症対策』 多めに準備しよう！

避難所などでの集団生活が長くなると、感染症が拡大するリスクが高まります。人と人との距離を取り、手洗いと咳エチケットの徹底が求められます。水道が使えない場合はウェットティッシュやアルコール消毒剤があると便利です。

Be Ready!



Let's Think!



9 『非常用持ち出し袋』 背負ってみよう！

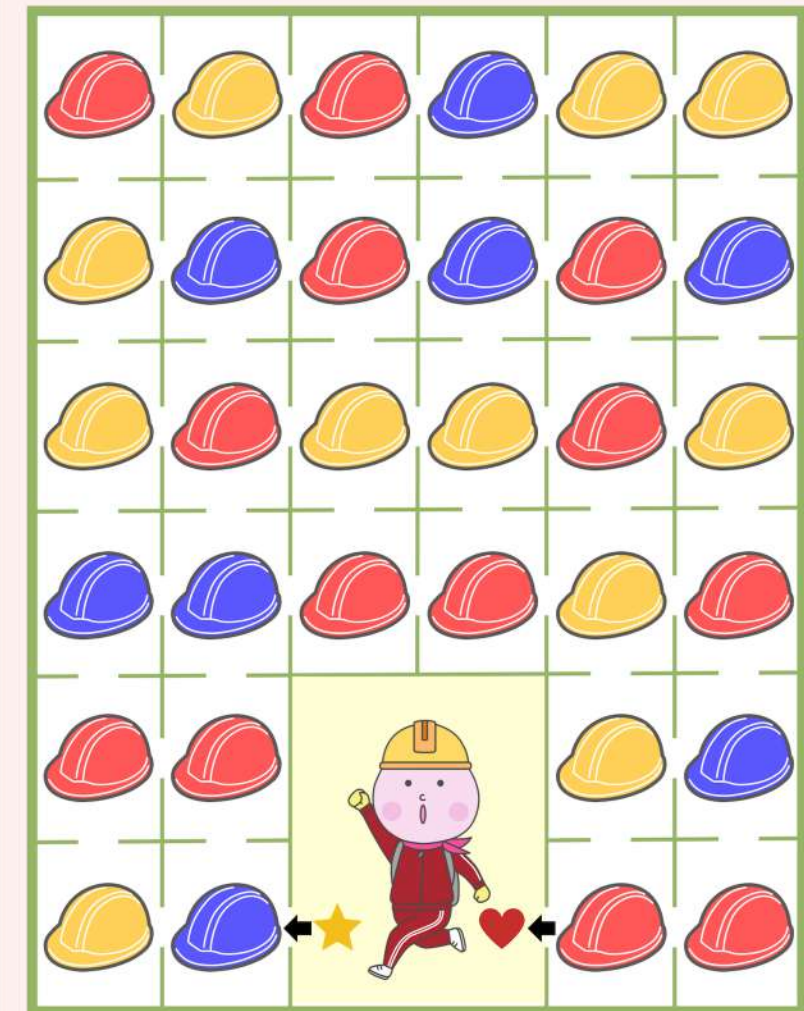
非常時に備えて、あれやこれやと準備をしても、持ち出せなければ意味がありません。子どもと一緒に避難することを想定して、持ち出せる分を検証しながら準備してくださいね。実際に背負って、走れるくらいの量をそろえましょう。

enjoyobou

あそ まな
さくらいふちゃんと遊んで学ぼう！
じゅんぱん すず
めいろ 順番に進もう！



ヘルメットのいろを、
あお → きいろ → あか
いろ → じゅんぱん → すす
の順に
★ から ♥ まで、線でたどりましょう。



ヘルメットのご準備を！

災害が起こると危険がいっぱい。そんな時ヘルメットをかぶれば、頭部を守ることができます。命を守る大切な防災グッズですが、みなさんはちゃんと備えていますか？ぜひお子様とそんなことをお話ししながら、ゲームをやってみてください！

さくらいふちゃんのHPには、他にも点つなぎ、迷路、ぬりえなどのコンテンツを掲載しています。無料でダウンロードしていただけますので、お子様と楽しみながら、ぜひ予防衛生に触れてみてくださいね！



SCAN ME